

<受入研修>

省エネ支援事業の一環で受入研修を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、AJEEP（ASEAN JAPAN Energy Efficiency Partnership）スキーム2の活動として、ASEAN9 カ国から10名の政策担当者を日本に受入れ、2018年9月25日～28日の4日間の研修を通して以下の取組みを実施しました。

- (1) ASEANの政策担当者から自国の省エネ状況、ロードマップ進捗状況、認証トレーナーの活動内容について報告、情報共有。
- (2) 持続可能なASEAN独自のエネルギー管理士認定制度構築に向けた討議。
- (3) 本活動にタイのミニプラントを使用させてもらったことに対して感謝の意を表し、タイ代表者に楯を贈呈。



METI 基調講演



ECCJ・ACE からタイに感謝楯授与



修了証授与



集合写真

新スキーム2の一環として、ASEAN 10カ国におけるエネルギー管理士の育成強化ならびに管理士認定制度の構築・改善に資する人材育成事業の推進を目的として、ASEAN 9カ国から10名の政策担当者を招聘し、以下の研修を実施しました。

- (1) 各国のカントリーレポートから、省エネ進捗状況・ロードマップ進捗状況・認証トレーナーの活動状況を報告してもらい、情報共有しました。
- (2) エネルギー管理士育成プログラムが2020年に終了するに当たり、ASEAN 諸国から本活動を継続してほしいとの声を受けて、持続可能なASEAN独自のエネルギー管理士認定制度を構築すべく、小集団活動を展開し討議を開始しました。来年度のAMEMエネルギー大臣会合で承認をうけるべく、内容の検討・スケジュールを確認して、ワーキンググループによる活動を通して、各国にとって最適な提案を構築していきます。
- (3) タイのこれまでの協力に対して感謝の意を表し、記念の楯を贈呈しました。